

二学期を振り返して

夏休みが明けて、二学期に入り、大傑たさー

年生は、なんとか、バラバラな気がしました。

今思うと、授業前の予習でころが、5分前着席

を呼びかけろ声も、少なからずよくな気が

します。9月に入れて、すぐ始まつた体育

大会の練習も、夏休みは頑張ったが、本重

か、アーニスリーダーのようになやる気十分の人

いうマイナス発言をしてしまふよな人が半

分ずつぐらりに分かれていました。最初の

ンス練習は、本当に元気がなかつたことを、今まで

も覚えてります。ダンスの曲も、知つてゐ

し、踊っていふと楽しいの、なぜか学生一年

斎に踊ると、元気が出ない、歌も歌う人と歌

ない人、加分がれてしまふ。自分でモーニング

まじやあかんと思ひました。自分でモーニング

ちに周りの先生方が下くさん声かけをしてく

だたりました。特に、秋田先生の7見て

いた。歌も歌う人と歌わないの

人を感動させたため

か、アーニスリーダーと思ひました。自分でモーニング

か、アーニスリーダーと思ひました。自分でモーニング

ゆっくり

ゆっくり

ゆっくり

は、胸 12 郷音をました。自分で考 11 すべての人を感動さ

んじやなくて、見て 11 すべての人を感動さ

せ 3 大め 12 は、これで 11 のか? こ、本気で考

えさせられました。○ こからみんなの空気が

一気に交わったと思 11 ます。誰が 11 ともなく

「声だとうやー!」と 11 いう声が上 11 ゴト、

顔も増え、バラバラだったためんなか

になつて、りくのを感じました。初めこのムカ

テ競走も、大繩も、クラスや学年が一つにな

うなりと成功しないへ何をやるにも僕たちの

手持ちが大事 11 と言ふことばかり 11 を体育

大会で学びました。

③そんなん中、僕は後輩の学年委員に立候補し

ました。これは前期の学年委員がクラスの大

めに一生懸命頑張っている姿を見て、僕もあ

んたぶん貢献したい、と思つたからです。

家に帰つてお母さんに報告すると、みんな

意見を言うのもいいけれど、逆に怒らせて

友達を減らさんようにして、やしと言われ、

に二わくななりまも夫。  
みんなから信頼して

ゆっく

ゆっく

ゆっく

ゆっく

ゆっく

$\theta < 0$

うるさくはどう(山)左高(山)西あか  
かわせんへだからの反応を気にして、嫌われな  
いふうにこまごまと遠慮無味に話していろ自  
分がけました。結果、その状態では、みんなは  
嫌の話を聞いてくれません。自分の思ひは、必  
要なことと見て、それをやることで、今まであ  
まりどうりうことをしてこなくて、色々な事  
死になつて伝えないと通じません。今まであ  
るの

3	当にや。	ちんと反応してれ
2	して迎え大字羽田発表会。	じて、動いてくれるので本
1	合唱コンク	か

ル 日 体 大 会 斗 大 会 12 精 力 リ だ け じ ゃ い ウ ナ リ

レ て、学 年 委 員 の 先 輩 カ ラ ア ド ハ イ ス を も う

リ ま し た。僕 の ク フ ス は、希 望 通 り の キ デ ハ 頑

レ と は 一 た は ず な の に、ハ ー ト リ ー ト リ ー

張 3 う ！

タ 1 に 頼 る、他 人 任 せ な ど、二 3 が あ り ま し た。

指揮者や伴奏者、クラスのみんなでたくさんの人に話してしまった。松永先生や古久保先生にも

$y_2 < 1$

「絶対に走る！頑張れ！」と励ましてもう一度、どんどん一つになつていくのが感動的でした。クラスの一人一人が周りの者を聞いて、しつかりとアドバイスしてくれたおかげで、す。時間をかけて練習した成果がどのクラスも歌声から伝わってきました。

4 みんなと話をして一緒に左側で取り組むことからニセを僕は二学期の行事を通して実感しました。あと

「呼びかけているだけの呼びかけ」には何を伝ゆるなり」と身にしめて感じじてひます。

今、ぼくたちは「生き生きはがらつ大作戦」という取り組みをしてひます。それぞれの委員会が日頃の生活の重々々項目を見直し、もう一度、あたりまえのこととあたりまえにできることになりました。

3 学年にな3分と、りう取り組みです。真剣に伝わり、5分前行動はじめ、だんだん学年が、て取り組む委員の動きが少しずつ周りに

全体の意識も変わった。見ての思ひます。

Up  
7  
<  
( )

金体の意識も、変わった

ゆり

今回

この取り組み、今日は先生方の声がりではじまりました。しかし、それでは僕たちの「自

治」「自立」はどうなります。学年の最後総目標を達成するに、これからの中学生活動を意識して、作りましたと思います。

(3) え 3 年草車にしたと曰っていきます。

平成28年12月22日

一年生代表 大野大地

VP. (1)